

第18回 能楽セミナー

能楽の現在と未来

第1日／10月19日(日) 11:00～17:30

現代に生きる能楽 — さまざまな「現場」から

【趣旨説明】 能楽の現在と未来 — いま考えてみたいこと 山中玲子(能楽研究所所長)

【インタビュー】 守っていくもの 変わっていくもの — 現代における能の輪郭 観世喜正(能楽師観世流シテ方)

【報告】 世界の能を目指す — 宇高通成とINI 国際能楽研究会

ディエゴ＝ペレッキア(立命館大学アート・リサーチセンター客員研究員)

【インタビュー】 能楽の可能性と普及 — 今なにをすべきか 野村万蔵(能楽師和泉流狂言方)

【全体討議】

第2日／10月26日(日) 13:00～18:00

シンポジウム 能のエッセンス・能のかたち

【報告1】 どこまでが能だったのか? — 歴史的に見た能の輪郭 横山太郎(跡見学園女子大学准教授)

【報告2】 学生が作る新作能 — 演劇学の授業に能をどう組み込むか 竹内晶子(法政大学教授)

【報告3】 現代演劇と能 小田幸子(能狂言研究家・明治学院大学非常勤講師)

【報告4】 「現代能楽集」の作業 — 錬肉工房の挑戦 岡本章(演出家・明治学院大学教授)

【全体討議】

第3日／11月10日(月) 18:30～20:30

能楽と西洋音楽

【講演】 能楽から新しいオペラへ 細川俊夫(作曲家)

【鼎談】 細川俊夫・青木涼子(能×現代音楽アーティスト)・宮本圭造(司会)

法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー 26階スカイホール

2014年 10月19日(日)・26日(日)・11月10日(月)

入場無料・事前申込不要・定員 100名

主催 法政大学能楽研究所 能楽の国際・学際的研究拠点 TEL 03(3264)9815

第18回 能楽セミナー

能楽の現在と未来

21世紀を生きる能楽は、どのように変わっていくのか、あるいは変わらないのか。いろいろな変化や新しい試みのどこまでを、我々は能楽と考えるのか。新作能でも、別ジャンルの芸術の中にあっても、これこそが「能的なるもの」と言えるような何かがあるとすれば、それはどんなものなのか。さまざまな立場・視点から、能楽の現代と未来を考えます。

第1日／10月19日(日) 11:00～17:30

現代に生きる能楽 — さまざまな「現場」から

- 11:00～11:30 【趣旨説明】 能楽の現在と未来 — いま考えてみたいこと 山中玲子(能楽研究所所長)
- 11:30～12:30 【インタビュー】 守っていくもの 変わっていくもの — 現代における能の輪郭
観世喜正(能楽師観世流シテ方)
- 13:45～14:30 【報告】 世界の能を目指す — 宇高通成とINI国際能楽研究会
ディエゴ=ペレッキア(立命館大学アート・リサーチセンター客員研究員)
- 14:35～15:35 【インタビュー】 能楽の可能性と普及 — 今なにをすべきか 野村万蔵(能楽師和泉流狂言方)
- 15:45～17:30 【全体討議】 コメンテーター 小田幸子(能狂言研究家・明治学院大学非常勤講師)・竹内晶子(法政大学教授)
ディエゴ=ペレッキア・野村万蔵・山中玲子・宮本圭造(司会 能楽研究所教授)

第2日／10月26日(日) 13:00～18:00

シンポジウム 能のエッセンス・能のかたち

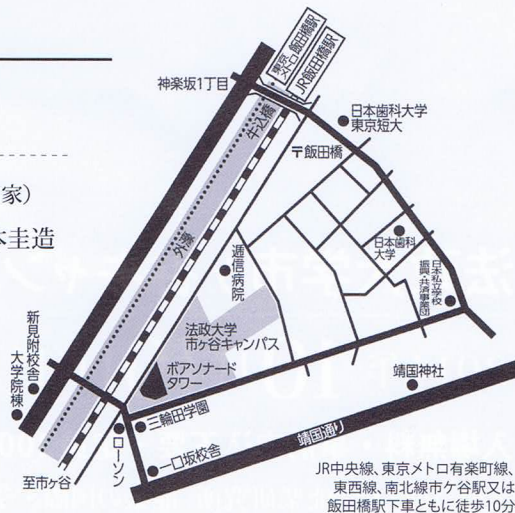
- 13:00～14:30 【報告1】 どこまでが能だったのか? — 歴史的に見た能の輪郭 横山太郎(跡見学園女子大学准教授)
- 【報告2】 学生が作る新作能 — 演劇学の授業に能をどう組み込むか 竹内晶子(法政大学教授)
- 14:40～16:20 【報告3】 現代演劇と能 小田幸子(能狂言研究家・明治学院大学非常勤講師)
- 【報告4】 「現代能楽集」の作業 — 錬肉工房の挑戦 岡本章(演出家・明治学院大学教授)
- 16:30～18:00 【全体討議】 コメンテーター 観世喜正・清水寛二(能楽師観世流シテ方)
横山太郎・竹内晶子・小田幸子・岡本章・山中玲子(司会)

第3日／11月10日(月) 18:30～20:30

能楽と西洋音楽

- 18:30～19:30 【講演】 能楽から新しいオペラへ 細川俊夫(作曲家)
- 19:40～20:30 【鼎談】 細川俊夫・青木涼子(能×現代音楽アーティスト)・宮本圭造

◎お問い合わせ先：法政大学野上記念能楽研究所
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
ボアソナード・タワー 23階
電話／03-3264-9815 ファックス／03-3264-9607



JR中央線、東京メトロ有楽町線、東西線、南北線市ヶ谷駅又は飯田橋駅下車とも徒歩10分